

## 個別課題発生時における意思決定支援のためのアセスメントシート

【作成日】令和元年6月17日

本人	岡山一郎	アセスメント実施者	玉野士郎(後見人)
実施日	令和元年6月17日 午前11時～12時 (第1回) 場所(本人自宅)		
ミーティング参加者 参加がある場合は□にチェックして( )に立場・姓名等を記入してください	<b>■本人</b> <b>■親族</b> (長男岡山太郎) <b>■ケアマネージャー</b> (津山花子) <b>■ヘルパー責任者</b> (美作雅夫) <input type="checkbox"/> <b>その他福祉関係者</b> ( ) <input type="checkbox"/> <b>行政担当者</b> ( ) <input type="checkbox"/> <b>その他行政関係者</b> ( ) <input type="checkbox"/> <b>地域包括支援センター</b> ( ) <input type="checkbox"/> <b>障がい者相談支援センター</b> ( ) <input type="checkbox"/> <b>医師</b> ( ) <b>■看護師</b> (総社愛子 ) <input type="checkbox"/> <b>医療ソーシャルワーカー</b> ( ) <input type="checkbox"/> <b>その他医療関係者</b> ( ) <b>■民生委員</b> (倉敷夢子 ) <input type="checkbox"/> <b>その他地域関係者</b> ( )		
検討した課題は何ですか(居所の選定・親族への経済的支援・重要な財産の処分等)	(居所の選定)下記のとおり事情により、ミーティングを開催し、本人の生活の場をどうするか、意思決定支援を行うこととした。		
いつ、どこで、誰が問題提起して、本日に至ったのですか	4月1日に自宅でトイレへの移動時に転倒事故が起き、H病院に入院して、5月10日に退院した。その後、以前より転倒リスクが高まった。寂しくなると、夜間も含めて毎日10回以上、近隣住民・親族・後見人などに電話をかけるようになった。仕事が多忙な長男が、本人の在宅生活はもう無理なのではないかと後見人に相談した。		
検討課題に関する本人の考えはもともとはどうでしたか	まだまだ一人でもやっていける。病院は酒が飲めないのが嫌だった。一方、前回の入院後は、体が思うように動かず、不安はある。心細い時に誰かがいてくれるという安心が得られるなら、施設も良いかもしれない。		
意思を形成する支援	検討課題についてどのような選択肢がありますか		
	① 介護サービスを増やして、在宅を続ける。 ② 施設に入所する。 ③ 長男宅に転居して長男一家と同居する。		
本人が意思を表明する支援	検討課題についてどのようにわかりやすく情報を提供しましたか		
	① 介護サービスの種類・内容・費用等をケアマネージャーに丁寧に説明してもらった。② 年金収入で入所可能な施設のパンフレットを本人に見せた。③ 長男が、部屋の間取りや孫が受験を控えていることで、本人との同居が難しいことを説明した。後見人から、経済的には①でも②でも可能であることを説明した。		
本人が意思を表明する支援	本人が表明した意思(言葉・感情・態度等)をそのまま記入してください		
	① 体が思うように動かなくなり、不安だし、イライラする。 ② ヘルパーから生活の細々したことを指摘されるのがストレスだ。今のヘルパーは交代してほしい。 ③ 不満や聞いてほしいことがあるから、電話もしてしまうが、やはり家で暮らしたい。		
	本人の真意をどのように検討しましたか(表明された意思と真意が異なっていましたか)		
	① 民生委員から、本人は、家で最期を迎えたいと普段から話していることが報告され、本人もその想いを強調した。② 後見人も、本人から、家は亡妻との思い出が詰まっており、苦勞して建てたことを聞いている。③ 長男から、家族としては、一人暮らしのリスクを考えれば施設に入所の方が安心であるが、それでも家での生活を望むのか確認したところ、本人は、「転倒の危険性があることはわかっているが、家で暮らしたい。」と発言した。		
チームの方針	本人が表明した意思内容が本人又は第三者の生命、身体その他重大な権利を侵害していませんか、若しくは経済的な事情等により客観的に著しく実現困難な選択肢を本人が希望し続けている場合ではありませんか		
	① 看護師によると、主治医も、在宅生活はサービスが整えば十分可能だとの意見である。ただ、自宅での入浴はリスクが高いので、別の方法を検討する必要があると説明した。② それぞれの立場で、電話による迷惑は、受信者側で調整可能であるとの意見で一致した。③ 介護サービスを増やすことは本人の収入から問題はない。		
ガイドラインに即して対応したかどうかをチームで確認して、OKであれば、□にチェックしてください	<b>■本人以外の関係者の問題を本人の問題にすり替えていないことを確認した</b> <b>■本人の表面的な言葉を安易に本人の意思としてとらえていないかどうかを確認した</b> <b>■支援のしやすさを優先して、支援者のための根拠付けになっていないことを確認した</b> <b>■結論を先に周囲が決めてしまい、後付けの根拠資料として使っていないことを確認した</b>		
チームの方針	検討課題についてどのような方針に決まりましたか(代理決定となった場合も支援方針を記載してください) 本人の意思どおり、在宅生活を継続する。「転倒防止」対策⇒ケアマネがすみやかに手すりやポータブルトイレを設置し、入浴のためのデイサービスを導入する。長男は早急に自宅の整理整頓を行う。「不安軽減」対策⇒ヘルパー責任者は、すみやかにヘルパー交代を検討する。長男は電話の回数を増やし、年に数回は自宅を訪問する。その他⇒後見人は介護保険区分変更申請を行う。本人の状況把握のため、3か月毎にミーティングを実施。		

個別課題発生時における意思決定支援のためのアセスメントシート

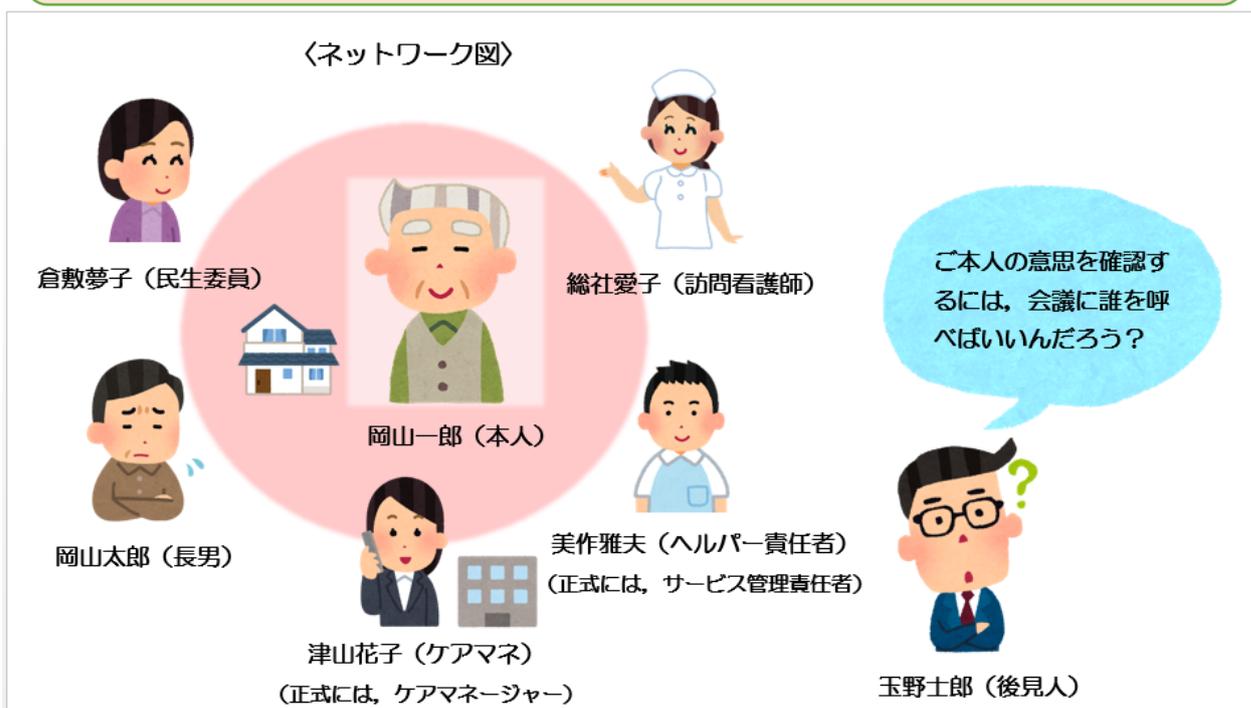
【作成日】令和 2年 3月 2日

本人	岡山 一郎	アセスメント実施者	玉野 士郎(後見人)
実施日	令和 2年 3月 2日 午後2時 ~ 3時 (第1回) 場所(本人自宅)		
ミーティング参加者 参加がある場合は□にチェックして( )に立場・氏名等を記入してください	<input checked="" type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 親族 ( ) <input type="checkbox"/> ケアマネージャー ( ) <input type="checkbox"/> ヘルパー ( ) <input type="checkbox"/> その他福祉関係者 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 行政担当者 (中核機関相談員和氣五郎 ) <input type="checkbox"/> その他行政関係者 ( ) <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター ( ) <input type="checkbox"/> 障がい者相談支援センター ( ) <input type="checkbox"/> 医師 ( ) <input type="checkbox"/> 看護師 ( ) <input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーカー ( ) <input type="checkbox"/> その他医療関係者 ( ) <input type="checkbox"/> 民生委員 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> その他地域関係者 (市民後見人浅口六郎 )		
検討した課題は何ですか(居所の選定・親族への経済的支援・重要な財産の処分等)	(親族への経済的支援)長男岡山太郎の長男である岡山順一郎に対して入学祝いを含め経済的援助の意思があるかを本人に確認し、どの程度であれば適切かを検討する。		
いつ、どこで、誰が問題提起して、本日に至ったのですか	2月に岡山順一郎が東京の私立大学に合格したが、地元の国立大学が第一志望であったため、岡山太郎は当座の転居費用や学納金を全額賄うほどの自己資金の用意がないとして、本人からの経済的援助を期待している。本人も早速入学祝いも含めて100万円を送金したいと言い出したので、複数選任されている市民後見人から専門職後見人へ連絡があり、本日に至った。		
検討課題に関する本人の考えはもともとはどうでしたか	岡山順一郎は自分にとって初孫であり、かわいくて仕方がないので、できる限りの経済的援助をしてやりたい。		
意思を形成する支援	検討課題についてどのような選択肢がありますか		
	① 岡山順一郎に対する入学祝いをしてよいか、どのくらいが適切か。 ② 岡山順一郎の転居費用及び学納金について経済的援助をしてよいか、どのくらいが適切か。		
本人が意思を表明する支援	検討課題についてどのようにわかりやすく情報を提供しましたか		
	① 本人の現在の預貯金額は5,000万円を超えており、年間収支は黒字との状況を説明した。 ② 専門職後見人が、岡山太郎から、その経済状況及び必要資金が申告どおりであることを確認した旨説明した。 ③ 専門職後見人が、もう1人の推定相続人である長女美作雅子から、入学祝いとしては100万円は高額なので本人自身の意思かどうかを慎重に確認してほしいとの要望があったことを説明した。		
本人が意思を表明する支援	本人が表明した意思(言葉・感情・態度等)をそのまま記入してください		
	① 孫の中でも順一郎は特別かわいい。大学の費用が足りないというのだから、入学祝いとして100万円を送金したい。今後の生活費の仕送りをしてもよいくらいだ。 ② 美作雅子はここ数年顔も見せないのに、私のお金の使い方に口を出されるのは心外だ。		
	本人の真意をどのように検討しましたか(表明された意思と真意が異なっていませんか)		
	市民後見人は毎月2~3回程度訪問しているが、本人から毎回順一郎の自慢話を聴いており、初孫がかわいくて仕方がないのは承知している。一方で、美作雅子は全く顔も見せないとの愚痴をたびたび聞かされている。		
チームの方針	本人が表明した意思内容が本人又は第三者の生命、身体その他重大な権利を侵害していませんか、若しくは経済的な事情等により客観的に著しく実現困難な選択肢を本人が希望し続けている場合ではありませんか		
	100万円の入学祝い又は経済的援助であれば、今後本人が施設入所する可能性を考えても本人の生活を脅かすことはなく、本人の意思を尊重することに問題はない。		
ガイドラインに即して対応したかどうかをチームで確認して、OKであれば、□にチェックしてください	<input checked="" type="checkbox"/> 本人以外の関係者の問題を本人の問題にすり替えていないことを確認した <input checked="" type="checkbox"/> 本人の表面的な言葉を安易に本人の意思として捉えていないかどうかを確認した <input checked="" type="checkbox"/> 支援のしやすさを優先して、支援者のための根拠付けになっていないことを確認した <input checked="" type="checkbox"/> 結論を先に周囲が決めてしまい、後付けの根拠資料として使っていないことを確認した		
チームの方針	検討課題についてどのような方針に決まりましたか(代理決定となった場合も支援方針を記載してください)		
	① 本人の意思どおり、岡山順一郎に対し、100万円の入学祝いを交付する。転居費用及び学納金の不足分もその100万円の中から賄える。② 本人から順一郎に生活費の仕送りをしてもよいとの意思も表明されたが、岡山太郎からそこまでの要望はなく、継続的な支出にもなるため、必要があれば今後検討することとする。		

## 意思決定支援の実践例（記載例1を題材として）

\*名称等は，ネットワーク図を参照してください。

この実践例は，基盤づくりやミーティングの開催方法，意思決定支援の進め方を具体的にイメージしていただくために，架空の事例（記載例1）を基に作成したものです。



### 1. 基盤づくり

#### ①面談による本人との信頼関係の構築

月1回程度，本人の自宅で面談を実施している。面談の度に本人の話に耳を傾け，受容的に関わることを繰り返している。

#### ②支援者とのミーティング

・就任時に，本人，ケアマネ，ヘルパー責任者，訪問看護師等の支援者とミーティングを開催し，後見人の役割を説明するとともに本人の支援体制について協議した。その中で，連絡の流れについて，以下のとおりとした。

・ヘルパー責任者，訪問看護師等のケアスタッフからの情報は，ケアマネがとりまとめて必要に応じて後見人に連絡してもらう。また，必要に応じて後見人から長男に連絡することとした。ミーティングについては，介護サービスの変更等がある際に，ケアマネが開催する担当者会議に参加するほか，必要に応じてミーティングを開催することとした。

## 2. 基礎となる情報の把握

「1. 基盤づくり①②」を通じて、以下の内容を把握した。

### ●本人の状況の把握

- ・少し耳が遠いものの、大きな声でゆっくり話せば会話に問題はないこと
- ・退職後は、もともとの趣味であった囲碁に熱心に取り組んでいること
- ・家は亡妻の想いが詰まっており、苦労して住宅ローンを返済したこと
- ・長男は自慢の息子であり、孫をととても可愛がっていること

### ●本人の意思決定において重要な役割を果たしている人：長男

### ●本人が最も信頼している人：民生委員

## 3. 個別課題の発生（就任から1年後）

- ・入院をきっかけに身体機能が低下し、以前より転倒リスクが高まった。
- ・近隣住民・親族・後見人に対し、時間を問わず電話をかけるようになった。
- ・長男からも、本人の在宅生活はもう無理なのではないかと相談があった。  
⇒1人暮らしの生活に問題はないか

『本人の居所に関する重要な決定が必要な場合』であると判断

- ・本人は在宅生活を続けたい一方、1人暮らしに対する不安もあり、施設入所を希望することもある。  
⇒ミーティングを開催し、本人が安心できる人に同席してもらい、適切な情報を提供するなどして意思決定支援を行う必要があると判断した。

## 4. ミーティングについて

### ・ミーティングの参加者

#### ①本人が信用している人

- ・県外に居住している長男・民生委員

#### ②本人の状況を把握している人

- ・在宅での介護サービスのプランを立てているケアマネ
- ・本人の生活の支援をしているヘルパー責任者
- ・本人の身体状況がわかっている訪問看護師

### ・ミーティングの開催場所

本人が一番安心でき、また生活状況を把握できる自宅

### ・ミーティングの呼びかけについて

ヘルパー責任者・訪問看護師・民生委員にはケアマネから連絡してもらい、長男には後見人から連絡した。

## 5. ミーティングの様子

- ・参加者の自己紹介後、ミーティングの趣旨について後見人から説明した。
- ・本人から「1人暮らしを続けたいと思っているが、だんだん体が動きづらくなっており不安な気持ちはある。せっかく集まってくれたし、みんなの意見や考えを聞いてみたい。」と発言があった。

### 意思《形成》支援

- ・長男から、転倒があったことや電話が頻回にあることなどから、在宅生活の継続について心配している旨が述べられた。
- ・ケアマネ・訪問看護師・ヘルパー責任者・民生委員から、本人の普段の生活の状況について、説明してもらった。転倒リスクの増大（特に入浴時）と、不安感の増大が課題として挙げられた。
- ・その課題に対してとりうる選択肢としては、①介護サービスを増やして在宅生活を継続する、②施設入所する、③長男宅に転居して同居する、の3つが挙げられた。
- ・①についてケアマネから、ヘルパーなど支援の回数を増やす、家屋環境整備などの提案と説明がなされた。
- ・②については、いくつかの施設のパンフレットをもとに、サービスの種類・内容・費用等をケアマネから丁寧に説明してもらった。
- ・③については、長男から長男宅の事情（部屋の間取り上本人のための自室を確保できないこと、孫が受験を控えていること）を説明してもらった。
- ・後見人からは、経済的には①でも②でも可能であることを説明した。

### 意思《表明》支援

- ・本人が一番信頼している民生委員から「遠慮せずに、岡山さんの本当の気持ちを言ってくださいね。」と意思の表明を促してもらった。
- ・本人が語る以下の内容を、ミーティング参加者が受け止めた。  
「体が以前より思うように動かなくなってきたことや、ヘルパーから生活の細々したことを指摘されてストレスだった。だから電話を多くかけるようになっていた。いろいろあるが、やはり家で暮らしたい。」
- ・その場では表明されなかった本人の普段から語っている思いを民生委員と後見人が代弁した。

民生委員「岡山さんは、家で最期を迎えたいといつも言っています。ただ、長男さん一家に会えないことが寂しいようで、お盆や正月に遊びに来てくれたら家もにぎやかになるのに・・・と話されています。」  
後見人「ご自宅は苦勞して建て、亡妻との思い出が詰まっているので、

出来る限り自宅で過ごしたいという思いを持たれています。」

★本人の意思

ケアマネが提案してくれたように、自宅の環境整備や介護サービスを増やして在宅生活を継続したい。でも、担当のヘルパーは交代してほしい。

・真意かどうかの確認

長男「家族としては、1人で倒れてないか心配だから、見守られている施設のほうが安心。父としては、たとえそうなる危険があっても、さっき言ったように自宅での生活を希望するってことでいいの？」

→本人「転倒の危険性があることはわかっているが、家で暮らしたい。」

意思《実現》支援

本人の意思を実現するため、以下のことを本人同意のもと決定した。

●本人が安心して自宅で生活できるように支援する。

【主に転倒防止】

- ・自宅内への手すり・ポータブルトイレの設置（ケアマネ/すみやかに）
- ・自宅内の整理整頓（長男/1か月後）
- ・安心して入浴できるようデイサービスの導入（ケアマネ/すみやかに）

【主に不安軽減】

- ・ヘルパーの交代の検討（ヘルパー責任者/すみやかに）
- ・電話の回数を増やす・年に数回は自宅を訪問（長男・孫）

【その他】

- ・要介護1の状態でないため介護保険区分変更申請（後見人/すみやかに）
- ・定期的にミーティングを実施する（全員/3か月に1回）